

新型コロナウイルス感染症に関する 感染予防対策

本学の誰かが感染して小規模患者集団をつくり、さらに次の集団を生み出すことを防止するために皆様のご協力が不可欠です！

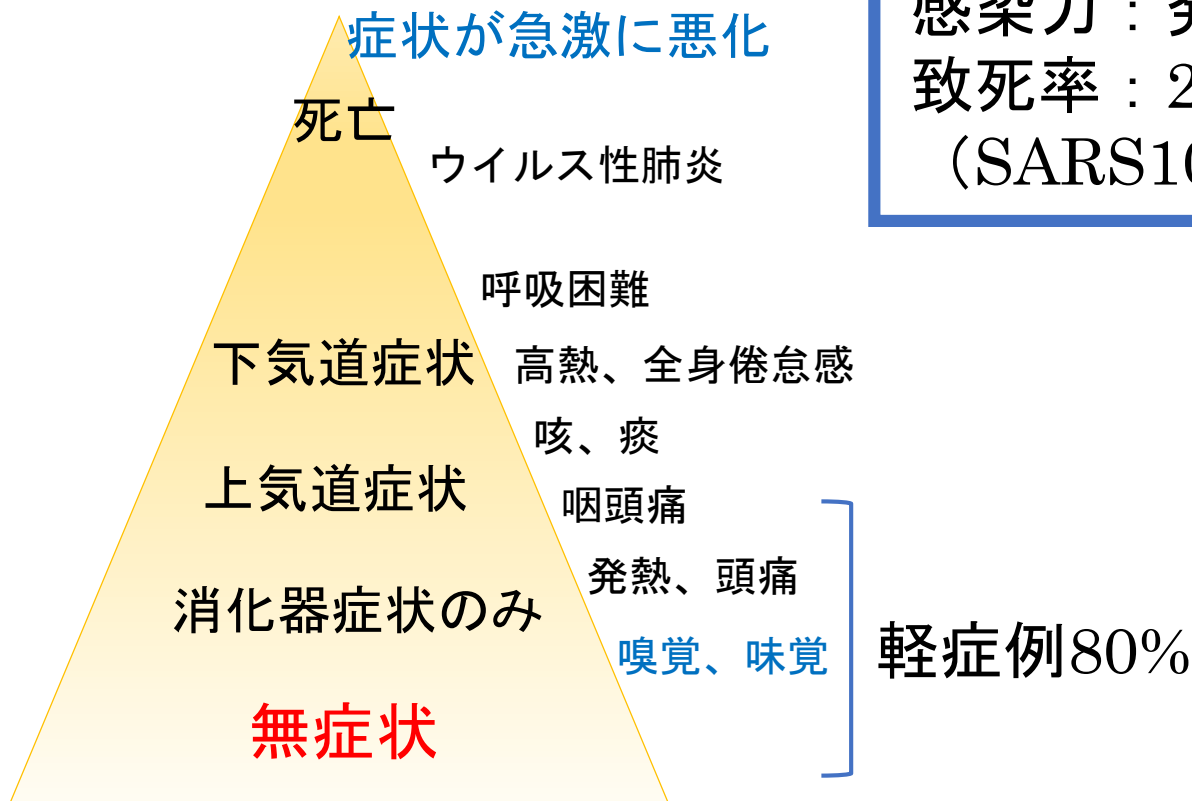
内容

- I ・ 新型コロナウイルス感染症の特徴
- II ・ 新型コロナウイルス感染症の予防対策
- III ・ 『本学における学生が登校する上で留意すること（登校の判断基準）』
- IV ・ 看護専門職となる看護学生として正しく理解する

I ・ 新型コロナウイルス感染症の特徴

1) 症状

潜伏期間：2～12.5日
感染力：発症2日前から
致死率：2.1%
(SARS10%、MERS37%)



1) 症状に続き 特有な症状

- ・ 嗅覚、味覚の変化が予兆なく唐突に生じる

- 甘い、塩辛い等を全く感じない

- 同じ物を口に入れてもいつもと違うように感じる

☞ ウイルスが鼻の奥にある細胞に直接影響を与えられ

普通、頭部の打撲やケガを除いては、急に嗅覚が失われることはない



- ・ 毎食の食事を通して確認をする

- ・ 五感を使って変化に注意する

2) 感染性

(1) 「いつまで感染するのか」

「ウイルス培養」の結果、感染性がある期間は8日まで

(2) 感染した日からの感染性の推移

人から人への感染は

①発症前の時期が45%

②発熱や咳などの症状のある時期が40%

③環境(高頻度接触面)を介した感染10%

④無症候性感染者からの感染5%

発症後の感染性は高くない。

Tomas Pueyo : Science (2020)

3) 感染経路

飛沫感染

短時間・近距離

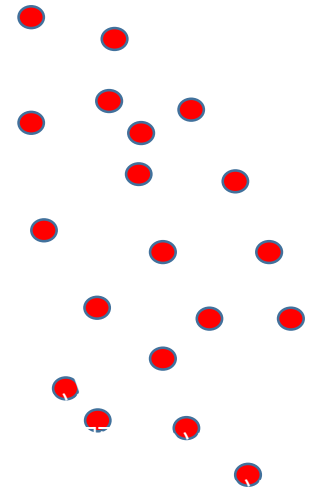
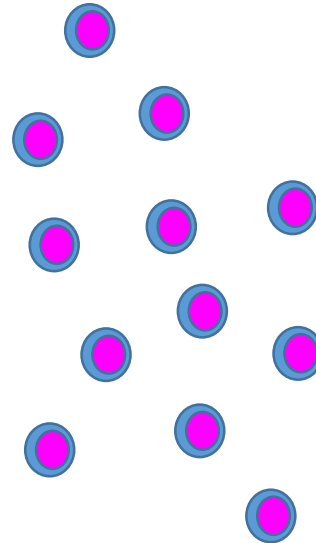
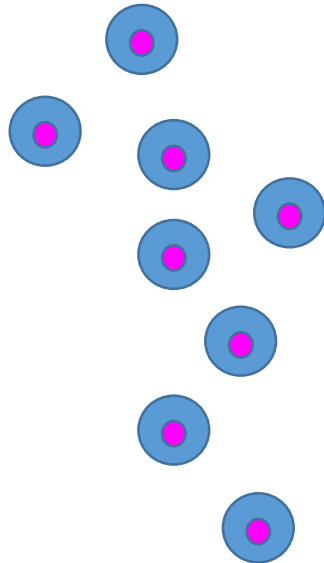
空気感染



インフルエンザ

新型コロナ
エアゾル化

麻疹・結核



空中で最低3時間は
生き残る

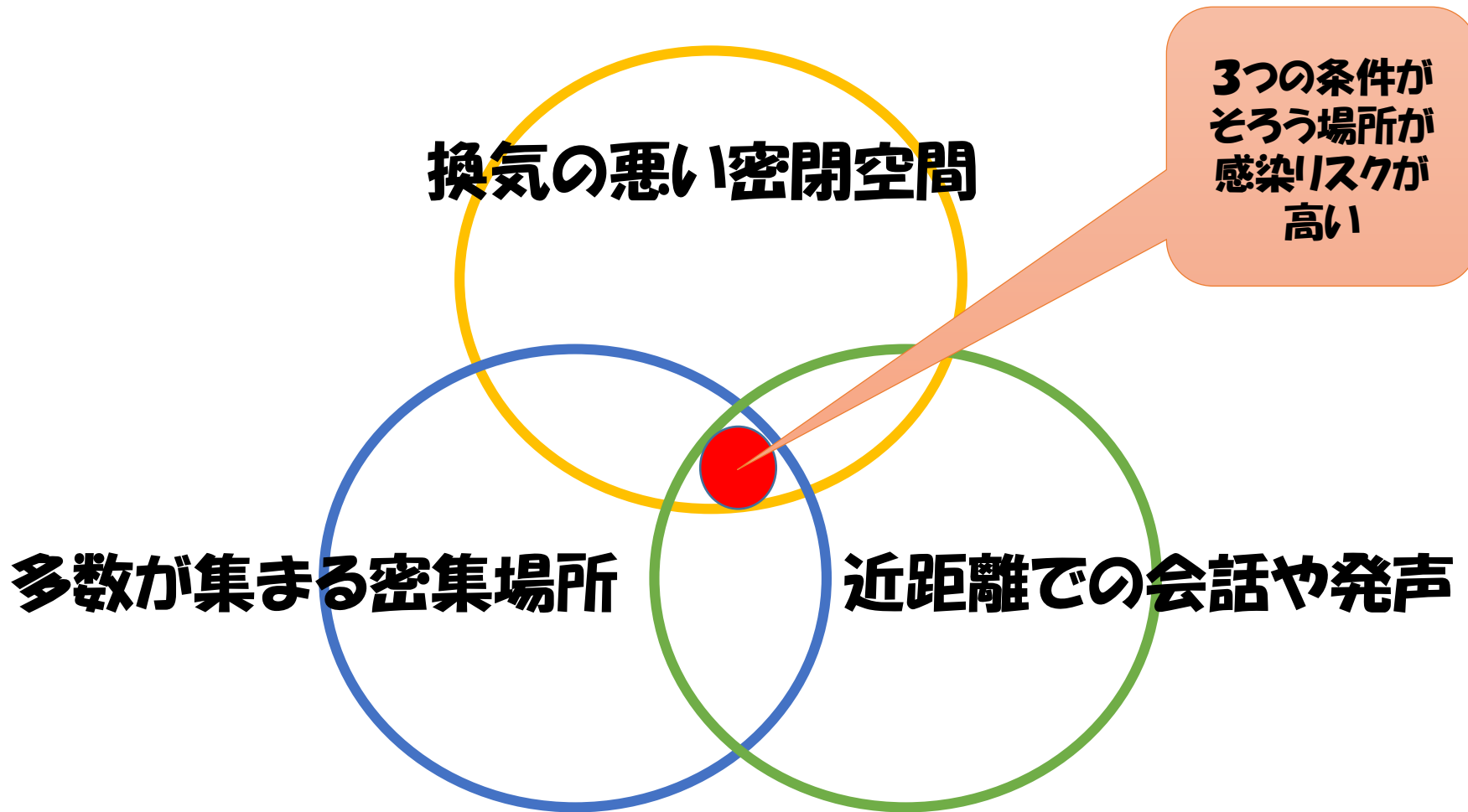
サージカルマスク

??????

N95マスク

2020年度 新型コロナウイルス感染症罹患
予防のために (学生委員会) (2020.6)

4) 感染リスクが高い条件



* ロッカールームやサークル室など

Ⅱ・新型コロナウイルス感染症の予防対策

1) 3つの密を回避せよ！



重要!

換気

人と人との間をあける

2020年度

新型コロナウイルス感染症

予防のために (学生委員会) (2020.6)

マスクを着用する

会話は控える

2) 感染対策の基本

①感染源を絶つこと

自分が感染源にならないために各自がすること



i) 出来るだけ早急に、発熱等の風邪症状の確認すること

◆健康チェック表に沿って毎朝・夕に検温等を行い記載し、自己管理する。自身での健康チェックを習慣化する。

健康チェックが大学に登校する上での前提条件です！

- ・マイ体温計をもつ（購入する）
- ・購入できない学生は保健室から借用できます

②感染経路を絶つこと

i) マスクの着用

いつでもどこでも人と接するときは
正しくマスクを着用する。



鼻から顎まで覆い
隙間をつくらない！

- ◆公共交通機関では、対面にならないように立つ、開放した窓周辺に着席する、会話を慎む等工夫を
- ◆マスクの表面は絶対に触らない
- ◆紐をもって外すこと
- ◆マスクを置く清潔なビニールや布を持参

* マスクがない学生への対応

- ・保健室で1人1日1枚まで
- ・もらった者は氏名を記載する

ii) 石鹸による手洗い・アルコールによる手指消毒

手洗いの6つのタイミング

外から
大学・教室に
入るとき

咳や
くしゃみ、鼻
をかんだ時

食事の
前後

掃除の後

トイレの
後

共有のものを
触った時

マイタオル
ハンカチをもつ
共有はしない！

トイレは3密避け
1・2・3階のトイレ
を使用
会話はしない

不特定多数の人が触る

ドアノブ、手すり、スイッチ、
パソコンのキーボードなどを触る前後

iii) 環境整備

授業を受けるにあたって行う感染対策と環境整備
一人ひとりが責任もって行いましょう

1. 教室に入る前に、手洗いまたはアルコールによる手指消毒を行う。
2. 指定の座席に座る。
注意！科目によって座席が異なるので掲示等の指示に従う。
3. 授業前後に、机の上等を教室前にある不綿布に消毒液を浸し、拭く。
4. 使用教室の窓による換気がされているかを確認する。
5. お互いにフィジカルディスタンスが1～2mとられていることを確認する。
6. 授業中もマスクを着用する。

iv) 換気の徹底

冷房中も換気する！

窓を半分あける場合：30分に1回の換気
全開の場合はそのまま

クラスのCOVID委員が率先して行い、クラスが協力する

iii) 環境整備

情報処理室・語学演習室を利用するにあたって

1. 部屋に入る前に、手洗いまたはアルコールによる手指消毒を行う。
2. **利用前後**に、設置してあるアルコール入りウェットティッシュで**キーボードを消毒**する。
3. **窓による換気**がされているかを確認する。
4. お互いにフィジカルディスタンスが**2m**とられていることを確認する。
5. マスクを着用する。

iv) 換気の徹底

冷房中も換気する！

使用する人たちが協力して、換気する

COVID-19委員の役割

- 各学年の使用教室、情報処理室、語学演習室の消毒剤など補充をする。
物品は保健室にある。
- 授業中や休憩時間、昼食時間の換気を行う。

窓を半分あける場合：**30分に1回の換気**
全開の場合：不要

③あなた自身の抵抗力（免疫力）を高めること

強靱な身体でウイルスを跳ね返せ！！

栄養バランスの良い食事、十分な睡眠を



ウイルスは、身体の弱った時に
付け込んで侵入してきます！

それと戦うのは、みなさん一人
ひとりの体力以外にありません！！

へろへろになった身体では、
戦えません！！！！

自分の身体は自分で守ろう！！！！

Ⅲ・『本学における学生が登校する上で留意すること（登校の判断基準）』

HPを必ず見ること(実習の方針と同じ)

登校をしてはいけない者

- ・新型コロナウイルス感染症に罹患している者
- ・新型コロナウイルス感染症に罹患し退院したが、主治医の許可が得られていない者
- ・新型コロナウイルス感染症(疑い段階も含む)の濃厚接触者になった場合で、2週間の健康観察(感染者との最終接触日の翌日から14日間)を経過していない者
- ・平常とは異なる発熱や風邪症状等を認める場合、下記の条件を双方満たしていない者
 - a. 発症後に少なくとも8日が経過していない者
 - b. 薬剤を使用せずに解熱後、又症状消失後に少なくとも3日を経過していない者
- ・緊急事態宣言のある県から石川県内に移動して2週間以内の者
- ・海外渡航から帰国後1ヶ月以内の学生
- ・2週間以内に不特定多数の人が集まる集会・イベントに参加した学生

IV・看護専門職となる看護学生として正しく理解する

現在、世界ではこれまでに遭遇したこともない感染症と真剣に向き合っています。

人々の生活・生命が危機に曝されており、皆さんひとり、一人の正しい理解と対応が求められています。



★誰にでも感染のリスクはあります

★知らないで感染してしまう場合もあります

★他人のことでなく、明日は自分も経験する可能性があります

この感染症について仲間と一緒に学び、予防していきましょう。